

## 大豆の干ばつ対策・害虫対策について

湖北管内では7/28に22日ぶりに降雨がありましたが、大阪管区気象台7/30発表の1か月予報によると、向こう1か月は気温が高く、降水量は平年並か少ない見込みで、平年に比べ晴れの日が多い予報です。

### （1）降雨がない時の対策

6月中旬播きほ場ではすでに開花し始めています。大豆は開花期から登熟期に多くの水を必要とし、子実肥大期までのかん水が重要です。水不足になると落花や落莢、葉の老化促進による減収、青立ちにつながります。

降雨がない場合は、以下を参考に「**うね間かん水**」を行いましょう。

#### 【本葉展開後のかん水方法】

- ・水不足により、葉が裏返し白く見える、または、7日以上雨が降っていない場合は「うね間かん水」を行いましょう。（→）
- ・排水溝（明渠）から思い切って「うね」の中まで水を走らせ、「うね」の肩を超すぐらいまで、土を湿らせてください。  
（→排水溝のみの通水では、「うね」の中央まで水分補給できません）

葉の裏返し



◎送水制限などで十分な用水の確保が難しい場合は、ほ場を分け、数日かけて徐々に入水して下さい。

◎うね間かん水は短時間で行います。ほ場全体に水が行き渡ったのち、ただちに水尻の板をはずして、速やかに排水して下さい。

## (2)-1 カメムシ類の発生状況

湖北管内に設置されている予察灯（ライトトラップ）でのミナミアオカメムシの発生が急増しています（図）。水稻で増殖したミナミアオカメムシが、収穫後に大豆ほ場に多量に飛来する可能性があります。以下を参考にカメムシ対策を行いましょう。

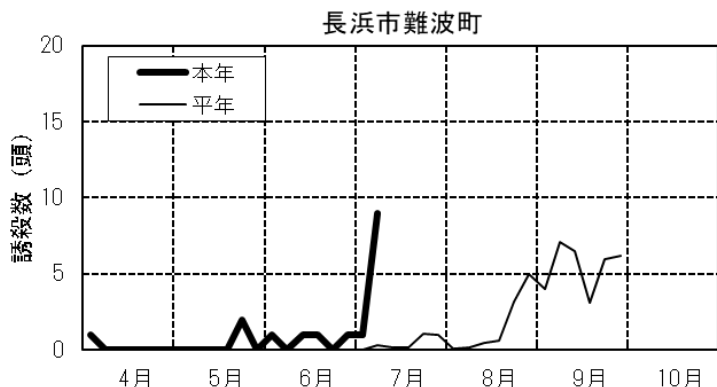


図 予察灯におけるミナミアオカメムシの発生推移  
(滋賀県病害虫防除所調査データ)

## (2)-2 大豆に被害を及ぼすカメムシ類と発生する被害について

ミナミアオカメムシの他、イチモンジカメムシやホソヘリカメムシもダイズに被害を及ぼします（写真）。ダイズカメムシ類により莢の伸長期に加害された場合は莢が落下し、子実肥大期に加害された場合は、子実が肥大停止または変形します（写真）。また、加害が激しい場合は、緑色のまま落葉せず、「青立ち」といった状態になります。



写真：滋賀県病害虫防除所提供

## (2)-3 カメムシ類の防除対策

- 1) ミナミアオカメムシが多いほ場では、若莢期と子実肥大期の2回防除を確実に実施しましょう。さらに、農薬散布後もほ場内のダイズカメムシ類の密度が高い場合は、必要に応じて3回目、4回目となる追加防除を検討してください（散布間隔は10～14日が目安）。
- 2) 成虫は主に着莢部に生息するため、できるだけ薬液が着莢部に付着するように散布してください。

### (3)-1 ハスモンヨトウおよびオオタバコガの発生状況

7月下旬時点で、すでにオオタバコガと思われる食害痕が散見されています。ハスモンヨトウの発生は現在のところ認められませんが、例年8月上旬ごろから発生が見られますので注意が必要です。

### (3)-2 ハスモンヨトウとオオタバコガの被害の特徴について

ハスモンヨトウの若齢幼虫が集団で葉裏を食害することにより、白変葉を発生させます（写真 a、b）。

オオタバコガはハスモンヨトウのように幼虫が集団で葉を食害することがなく、白変葉にはなりません（写真 c）。



タバコガ類：オオタバコガとタバコガを幼虫の外観から見分けることは困難。  
写真：滋賀県病害虫防除所提供

### (3)-3 ハスモンヨトウとオオタバコガの防除対策

- 1) ハスモンヨトウの幼虫が群生する白変葉を確認したら、すぐに葉ごと摘み取って除去しましょう。
- 2) ハスモンヨトウおよびオオタバコガは、幼虫の齢期が進むと薬剤の効果が低下するので、若齢のうちに防除を実施します。その際は葉裏や株元にも十分薬剤がかかるように散布してください。
- 3) 一度防除したほ場でも成虫は次々飛来し産卵することから、防除後も発生状況をこまめに確認し、発生している場合は適宜、追加防除を実施しましょう。

## **(4)農薬の使用にあたって**

- 1) 薬剤の散布にあたっては、ラベルを確認し、農薬使用基準（使用時期・使用回数等）を遵守してください。
- 2) 農薬を散布するときは、周辺住民やほ場周辺の農作物等に影響が出ないように、農薬の飛散防止対策を行いましょう。
- 3) 学校、保育所、病院、公園、保健所等の公共施設、および住宅地に近接する場所で農薬を散布するときは、農薬の飛散により周辺住民に健康被害を及ぼすことがないように、農薬の飛散防止対策を行い、事前に農薬を散布する日時、使用農薬の種類等を記した書面や看板等により周知を行い、周辺住民や施設利用者等に十分配慮しましょう。